

桐生西ロータリークラブ週報

2009-10年度RIテーマ

ジョン・ケニーRI会長 ロータリーの未来は
あなたの手の中に



例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi
 会長 下井田秀一 クラブ会報・雑誌委員長 松原 豊
 幹事 向田 靖 委員 井本上輔・正田恵一

No. 1742

2009年10月30日発行

第1849例会 (2009・10・23) 報告

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
3. 来訪者紹介
4. 米山奨学金贈呈
5. 会長報告
6. 幹事報告
7. 食 事
8. 委員会報告
9. 米山月間に因んで
10. 点 鐘
11. ロータリーソング

◆ピジター
 米山奨学生
 ◆米山奨学金贈呈

米山奨学生
 アクラミ・アリレザ君へ
 10月分の米山奨学金
 が贈呈されました。



アクラミ・アリレザ君

◆会長報告

- 先日の地区大会では大勢の皆様にご参加頂きましてありがと



下井田会長

うございました。その席上、当クラブが RI 会長賞と RI 会員増強拡大賞の2つの賞を受賞致しました。これは昨年度の田崎会長始め関係各位の皆様の努力の賜が認められて表彰されたものです。

2. 今年度の国際奉仕の最大事業は、タイ国チェンマイ・ティンタインガムRCと共同でバン・ラク・バン学校上級生の為の教室拡張プロジェクトです。支援金は9万バーツです。また来月姉妹クラブのフィリピン・マンダロンRCを訪問するにあたり、約1千\$の予算で大変貧しい学校の栄養失調の子供を救うプロジェクトを行う事を理事会で承認頂きました。

全額を国際奉仕の予算で賄う事は無理ですので、お心の有る方に募金をお願いしたいと思います。本日募金箱をまわさせて頂きますので、ご協力の程、お願い致します。

- ライラ研修が明日明後日と国立赤城青少年交流の家で開催されます。津久井RA委員長と桐生西RACの小川幹事が参加されます。
- 10月25日(日)に家族会秋の食事が梅田の清風園で行われます。ご夫人15名が参加されます。
- 次年度の理事役員候補者を本日より受付しますので、立候補される方はお申し出下さい。

◆幹事報告 向田幹事

- ◇11月のロータリーレートは10月と同様1\$90円です。
- ◇10月17日(土)の桐生タイムス紙に施設優良職員表彰の記事が、また22日(木)の同紙に金子福松パスト会長が読み上げた清水俊衣様の卓話の内容についてのコラムが掲載されました。(テーブルに配布)
- ◇桐生RACから「ミステリークリーンツアー'09～飛翔～」のご案内が、また社会保険ぐんま10月号が届いております。
- ◇例会変更のお知らせ

桐生RC 11/23(休)	伊勢崎東RC 11/23(休)
太田RC 11/5, 11/20, 11/26	太田西RC 11/4, 11/25
富岡RC 11/25	富岡かぶらRC 11/3(休), 11/17
富岡中央RC 11/5	藤岡北RC 10/27

◇クラブ会報が到着しています

桐生RC 10/19 桐生赤城RC 10/8

◆食事メニュー 1120キロカロリー
 鯖の味噌煮、若鶏の南蛮サラダ、白飯、滑子のかき玉汁、レンコンのきんぴら、芋ようかん

◆委員会報告

□出席委員会

花房委員長

総数49名(免除者9名のうち4名出席の為5名を除く)
 出席率対象者44名、出席率対象者出席人数37名
 欠席者7名(内前メイク3名) 出席率90.91%
 前々例会修正出席率83.72% (最終欠席者7名)

□ニコニコBOX委員会

石川委員長

米山奨学生ア克拉ミ・アリレザ君の卓話ありがとうございます
 家住君、栗原君、奥村君、稲森君、坪井君

□ロータリー財団委員会

前原委員

米山奨学生ア克拉ミ・アリレザ君の卓話ありがとうございます
 奥村君、稲森君、坪井君
 半日で16,000歩歩きました 船戸君

□米山奨学委員会

船戸委員長

米山奨学生ア克拉ミ・アリレザ君の卓話ありがとうございます
 栗原君、奥村君、稲森君、坪井君、船戸君

◆米山月間に因んで

□米山奨学生紹介

家住カウンセラー

ア克拉ミ君は今年4月から2年間米山奨学生となり、群馬大学工学部機械システム工学科の3年生です。イランのテヘラン出身で、ご両親と妹さんの4人家族です。お父様のご職業は外務省勤務の外交官で、来日する前にもご家族で他の国で住まれた経験があります。敬虔なイスラム教徒で、食事的な制限もあるわけですが、その様なことを踏まえた上で、大学生活を楽しく送っています。政治的な関心も非常に強く、真面目で優秀な学生です。大学院へ進学希望が強く、自動車関係の仕事に就きたいそうです。近い将来、日本とイランの架け橋になってくれることと思います。

卓 話



米山奨学生
 ア克拉ミ・アリレザ君
 「母国イランについて」

皆様こんにちは。今日はイランについてお話ししたいと思います。

フルネームはイラン・イスラム共和国です。国旗は3色で上の緑は自然の色、下の赤はこの国がずっと続くよう、国を守るため戦争等で死んでしまった人の血の色です。真ん中はアラーの神様という意味の文字です。

イランの歴史は長く、ペルシャ帝国から現在までペルシャ人が住んでいます。その他トルコ人やクルド人等も住んでいて、一般的に使われている言語はペルシャ語です。

左の写真はホメイニ氏です。国民の98%がイスラム教徒であり、良くない政府が長く続いていたので、イスラム共和体制を成立させたイラン革命の指導者です。

皆さん、メディアなどで女性に自由が無いとか顔を隠している等のイメージがあると思いますが、それは違います。女性も男性と同様に、社会で活躍しています。

イランは西アジアにあり中東の国でペルシャとも呼ばれ、首都はテヘランです。北にカスピ海があり、南にペルシャ湾とオマーンがあります。東にはパキスタン、アフガニスタン、西にトルコ、イラクがあります。

それでは首都テヘランについて紹介します。シンボルの一つであるアザディー・タワーがあります。1971年に造られ、高さは約50m、



上の箱の様な所が博物館になっていて観光名所になっています。テヘランは225年前に首都になり、人口770万人です。北には高い山があり、南は砂漠になっていて、寒暖の差が激しく、夏は気温が39度にもなり、冬には零下7度まで下がり、スキーもできます。



左はやはりテヘランのシンボルであるミラード・タワーです。高さ435mで、中東では最も高い建造物で、世界でも4番目です。タワーの下がホテルになっていて、上の丸い所にはオフィスや回転レストランがあります。



右の写真は父の勤務先の外務省です。この建物はイランのモダンなデザインと2,500年前のペルセポリスにあるデザインが合わさって出来た建物で、これもイランの観光名所になっています。



左の写真がシャフル劇場でイランで一番大きな劇場です。イスラム的なアートを用いて造られています。

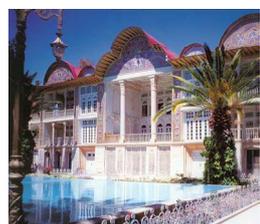


右の写真はテヘランの北側にあるダマバンド山で、高さ5,761mでイランで最も高い火山です。



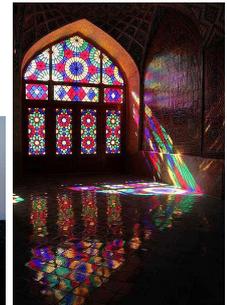
次にシラズという街について説明します。ペルシャ湾に近い所にあり、18世紀のイランの首都でした。左の写真が王様が住んでいたキャリムカン城で現在は博物館になっています。

右の写真はシラズに入る所にあるコーランゲートです。中にコーランが置いてあり、この下を通ると良いことがあるといわれています。



左はエラムガーデンで歴史的な建造物でもあり、珍しい植物が色々あることでも有名です。前の王様の居住地であり外国から来たお客様がここに滞在したりしていました。

右はナスールモスクで、イランで一つだけのピンクのモスクです。



そして、これが有名なペルセポリス

です。紀元前520年に造られ、非常に大きく中に5つ以上の宮殿があり、紀元前331年にアレクサンドロス大王に破壊され、廃墟となりました。



次にイスファハンという街を紹介します。イスラム芸術で有名です。右はイマームモスクで世界遺産です。上はイマーム広場です。

以上で、イランについての発表を終了したいと思います。ありがとうございます。

口米山奨学委員会 船戸委員長

ロータリーの友10月号の『よねやまだより』に米山学友会について記載されています。8月に山形県で学友会が設立され、それで全地区に学友会が出来たそうです。日本に残っている元米山奨学生の会が学友会であり、母国に帰った元米山奨学生が自国で設立した学友会が中国などにもあります。

また過日『豆辞典』が全会員に配布されたと思います。その5頁に米山奨学事業は『平和の心を育む国際奉仕事業』とあります。それを読むと世界平和を目標とした素晴らしい事業である事が分かります。

今後も皆様のご理解とご協力をお願い致します。

米山記念奨学事業 新シンボルマーク について



重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」を表しています。外国人留学生の支援・交流を通じ、国を超えた絆や信頼関係を築き、やがて、1人ひとりの胸に世界平和を願う“心”を育てるという事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。温もりを感じさせるピンクを基調色としていますが、使用場面に合わせた別の色展開もあります。

桐生プロパンガス(株)

監査役 稲森幸雄

桐生市仲町3-6-32

TEL 0277-44-8121

写真による活動報告

◆本部

向田幹事

地区指導者育成セミナー



地区研修リーダー清章司パストガバナーのもと、『地区ロータリアンがクラブの枠を超えてロータリーに奉仕する意欲を高める事』



を目的として、10月17日(土)14:00~17:00の予定で、標記の会が伊勢崎プリオパレスで開催されました。当クラブからは根本地区社会奉仕委員長、家主パスト会長、片貝会長エレクト、向田幹事の4名が出席しました。講師としてRI会長代理の板橋敏雄パストガバナーの基調講演があり、その後各分区毎の事例発表などが行われました。

RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会



地区大会前夜の10月17日(土)午後6時30分から、RI会長代理、第2550地区パストガバナーの板橋敏雄様御夫妻を歓迎して晩餐会がクレインパーク山楽荘で開催されました。当クラブから矢野パストガバナー、根本地区社会奉仕委員長、家主地区管理運営委員、下井田会長の4名が出席致しました。



◆本部

向田幹事

地区大会



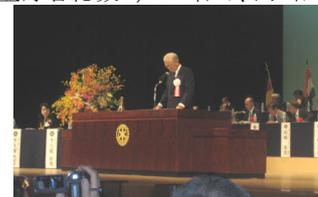
RI第2840地区大会が10月18日(日)、伊勢崎市文化会館で開催されました。大会登録者総数1,037名で、内当クラブ登録者は24名でした。

大会委員会報告の中で矢野亨パストガバナーが規定審議会立法案検討委員長として壇上に立たれ、2010年の規定審議会提出立法案を発表されました。

また、各種表彰では、当クラブが名誉あるRI会長賞とRI会員増強拡大賞(優秀退会防止率)の2つの賞を受賞しました。

昼食後は約90分に亘りジャーナリストの櫻井よしこさんの特別記念講演『今、日本が直面する内外の課題』があり、憂慮すべき日本の将来を論じられました。

大会終了後は会場をクレインパーク山楽荘に移して懇親会が催され、ロータリアン同志の友情を深めました。



家族会行事 **梅田の里の秋を愛でる昼食会** 開催



司会進行 家族会親睦担当
中野穂代さん



家族会会長挨拶
下井田千恵子さん



下井田
会長挨拶

乾林
家族会副会長
片貝いずみさん



閉会挨拶
家族会運営担当 花房一江さん



恒例の家族会行事秋の食事会が、梅田『清風園』で開催されました。10月25日(日)午前11時20分に、プリオパレス第2駐車場から清風園のマイクロバスで出発し、バス旅行の気分



で梅田の秋の景色を眺めながら、正午からの昼食会に向かいました。

清風園駐車場に着くと親睦委員の男性陣が手厚く出迎えて下さり、色づいた紅葉を愛でながら数寄屋造りのお座敷に入ると、桐生川のせせらぎと梅田の里の景色が一望でき、まるで京都にでも来たような気分になりました。大変豪華で美しく食べきれない程の美味しい会席料理を十二分に堪能した後、紅葉をバックに記念写真を撮り、再びバスに乗り、梅田ふるさとセンターでショッピングを楽しんで、午後3時に解散となりました。(ご夫人参加数15名)

メンバーは今!! No. 42

乾 和久 会員



乾さんは平成19年2月16日に入会した。会員歴2年半でロータリー用語にまだ馴染めていないそうである。推薦者は矢野PGである。乾さんは矢野先生が理事長である病院の事務長を務めており、いわばサラリーマンであるので、会社の社長が多数を占めるロータリークラブでは異質の会員である。当然のことながら、勤務場所での価値観とは異なる非日常がロータリークラブにはあり、戸惑いがあったと話す。矢野G年度の事務所がのぞみの苑にあったことで、ロータリーについて全く知らないわけではなかったが、ロータリーは奉仕活動をするNPOのような団体であると認識していたそうで、ロータリーの本質は入会してみなければ分らないようである。

入会の際に松原さんと一緒だったのは幸運であったとのこと。職種は異なるもののサラリーマン管理職という立場は同じであり、話が合ったとのこと。新入会員は同期の仲間がいることは心強く、会員増強には、何人か一緒に入会してもらおうような配慮が必要かもしれないという示唆であろう。乾さんは、もしロータリークラブに入らなければ行くこともないような場所に連れて行ってもらえたり、あるいは卓話で各界の識者の話を聞くことができたりと、様々な経験をロータリーですることができて大変勉強をさせてもらっていると語る。乾さんには今後もロータリークラブライフを大いに楽しんでもらいたい。

前年度クラブ会報・雑誌委員長 片貝良一

理事会報告 10月16日

1. チェンマイ・ティンタインガムRCとのWCSはバン・ラク・パン学校上級生の為の教室拡張プロジェクトとし、支援金の不足分は会員の募金で賄う
2. 次年度理事役員候補者の立候補受付を次例会で行い、11月6日の例会で告示する
3. わたらせ養護園チャリティーショーを後援しチケット10枚購入する
4. フィリピン・マンダロンRC公式訪問は参加者の自己負担とし、WCS支援金は約1千ドルとし、半額は国際奉仕、残り半額は会員有志の募金とする
5. 遠藤瑞香さんピアノリサイタル(2010年7月10日、大間々ながめ余興場)の後援を行う
6. 高津戸荘への健康維持遊具贈呈プロジェクトを地区補助金に申請する

社会福祉法人 希望の家 希望の家療育病院

事務長 乾 和久

みどり市大間々町大間々22-4

TEL 0277-73-2605

《次例会予告》

11月6日(金) ライラ研修報告、会員卓話
11月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い
理事役員の告示